

西濃運輸・大垣共立銀・大垣西濃信金で入社式 「豊かな社会」実現へ決意



西濃運輸の入社式で代表して決意を語る浅井花菜さん(中央)
＝大垣市加賀野、ソフトピアジャパン



大垣共立銀行グループの入社式で代表して
あいさつする後藤莉乃彩さん(中央)＝大垣
市郭町、同行本店



大垣西濃信用金庫の入庫式で代表して宣誓する岡田涼祐さん
(手前右)と遠藤華さん(同中央)＝大垣市恵比寿町、同金庫本部

西濃運輸は大垣市加賀野のソフトピアジャパンで入社式を開き、オンラインを含めて新入社員120人が参加。新入社員を代表して浅井花菜さん(22)＝岐阜市出身が「大学生活はコロナ禍とともに始まり、不安を抱えていたが、誇りを持って働ける会社に入ることができた。生活の基礎を支える物流を通してより豊かな社会をつくりたい」と誓った。

大垣共立銀行は大垣市郭町の本店でグループの入社式を行い、新入社員123人が出席。学生時代に競技かるたサークルに所属していたという後藤莉乃彩さん(22)は「言葉の持つ力と多様性を信じて、お客さま一人一人と真摯に向き合い、皆の思いをつないでいく」と語った。

大垣西濃信用金庫は同市恵比寿町の本部で入庫式を開き、小川章理事長が「日銀が金利政策を転換し、金利のある世界が視野に入ってくる。新しい時代に向け、豊かな発想力と力のこもった行動力を期待する」と激励した。

コロナ禍経験世代、たくましさ

西濃地域の多くの企業が1日、入社式を開いた。今春入社したのは、学生生活のほとんどをコロナ禍の制約を受けて過ごした世代が中心。苦難の経験を乗り越えてきた新入社員たちは、晴れやかな表情で決意を語り、各社トップがエールを送った。

(宮本寛)

励。配属店の発表後、新入社員20人を代表して岡田涼祐さん(22)と遠藤華さん(22)が、地域経済の発展に貢献し、同金庫の信用や価値を高めていくと宣誓した。